⑥　柿崎区

■人口（令和元年 10 月末現在）

総人口	9,386人	7.2%
15歳未満	929人	0.7%
65歳以上	1,757人	1.4%
75歳以上	1,917人	1.5%

■地域の送迎サービス

No.	名　称	運行主体	区　間	運行日
1	スクールバス	市	柿崎小学校区、下黒川小学校区、柿崎中学校区	平日
2	サロン送迎	柿崎まちづくり振興会	柿崎区内	週3回(月,水,金)
3	出前サロン送迎	柿崎まちづくり振興会	第七区、七ケ地区、下黒川地区、黒川・黒岩地区	月1回
4	認知症カフェ	柿崎まちづくり振興会	柿崎区内全域	月1回

■バス路線の収支と評価結果

No.	路　線	収支等の状況(H30決算)										
		区分	経常費用（千円）	経常収益（千円）	経常欠損（千円）	収支率	国県補助（千円）	市補助（千円）	年間利用者数（人）	1便当たり利用者数（人）	平均乗車密度	評価結果
1	浜線	支線	13,680	1,160	12,521	8.5%	6,134	6,386	6,813	1.4	0.3	Ⅱ運行形態の転換等
2	黒岩線	支線	8,127	652	7,474	8.0%	1,447	6,026	2,388	0.8	0.3 0.9	Ⅰ路線廃止
3	上直海線	支線	18	4	15	20.9%	0	14	18	0.0	1.5	Ⅰ路線廃止
4	森本線	支線	7,549	288	7,261	3.8%	0	7,261	2,091	1.1	0.2	Ⅱ運行形態の転換等
5	水野線	支線	3,653	187	3,466	5.1%	0	3,466	616	0.4	0.3	Ⅰ路線廃止
合　計			33,028	2,291	30,737	6.9%	7,581	23,153	11,926	1.0	-	

■利用の実態（乗降調査）

No.	路　線	利用の実態	
		利用の傾向（乗降調査）	利用の特徴（乗降調査）
1	浜線	A-イ	・朝・昼間は区内への通院が主 ・朝夕は利用が少ない
2	黒岩線	A-イ	・朝・昼間は区内への通院が主 ・朝1便目の利用がない
3	上直海線	C	・利用がほとんどない(年間延べ18人)
4	森本線	C-ア	・午前は高齢者の利用あり ・明治小学校の児童利用
5	水野線	C-ア	・朝は通勤利用1人 ・他の便はほとんど利用なし

■沿線住民の意見

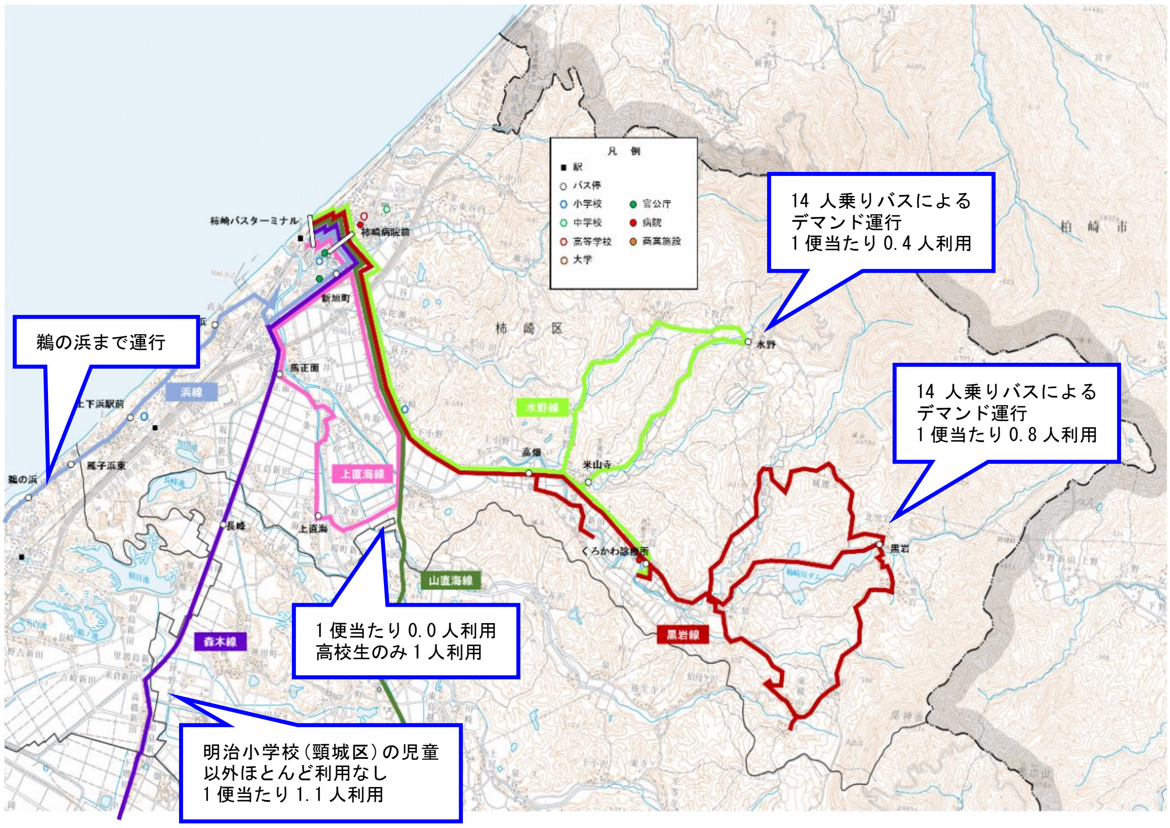
No.	路　線	地域住民の意見	
		利用者の意見（乗降調査）	住民の意見（聞き取り調査、説明会等）
1	浜線	直江津までの直通便の要望(10人/36人中)	・集落カルテの調査で増便の要望あり(2町内会)
2	黒岩線	意見なし(0人/30人)	・集落カルテの調査で土日運行の要望が2町内会、乗合タクシー導入の要望が2町内会からあり
3	上直海線	利用者0人	・柿崎病院の開院に合わせて運行してほしいという要望あり(1人/9人)
4	森本線	意見なし(0人/9人)	-
5	水野線	意見なし(0人/3人)	・土日の運行、乗合タクシー導入の要望が各2町内会からあり ・診療所まで定時運行の要望あり

■再編の方向性

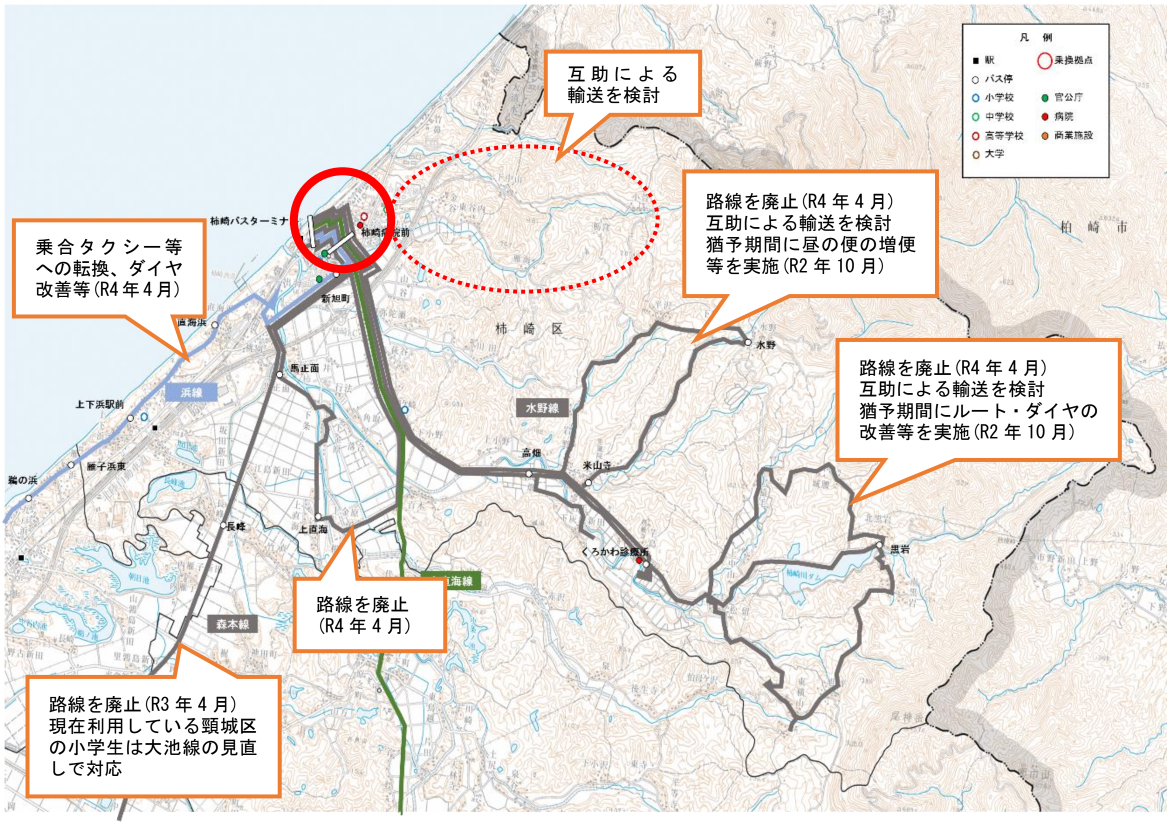
No.	路線名	区分	主な再編時期	再編の方向性
1	浜線	支線	R4年4月	・乗合タクシー等への転換を検討し、効率性を向上 ・ダイヤ変更、減便により、利便性と効率性を向上
2	黒岩線	支線	R4年4月	・路線を廃止し、住民の「互助」による輸送への転換を検討 ・廃止前の猶予期間において、ルート・ダイヤの改善等を実施
3	上直海線	支線	R4年4月	・路線を廃止 ・現在利用している高校生の在学中は路線を維持
4	森本線	支線	R3年4月	・路線を廃止 ・明治小学校の児童の利用は、大池線の運行を改善し対応
5	水野線	支線	R4年4月	・路線を廃止し、住民の「互助」による輸送への転換を検討 ・廃止前の猶予期間において、昼の便の増便等を実施
6	七ケ地区	－	―	・住民の「互助」による輸送の取組を検討

※幹線と支線の乗換拠点は柿崎バスターミナル

■再編前


凡　例
駅
バス停
小学校
中学校
高等学校
大学
官公庁
病院
商業施設
柿崎バスターミナル
柿崎病院前
新旭町
馬正面
上下浜駅前
潟子浜東
鵜の浜
浜線
上直海線
上直海
長峰
森本線
山直海線
水野線
水野
高畑
米山寺
くろかわ診療所
黒岩
黒岩線
柿　崎　区
柏　崎　市
鵜の浜まで運行
14 人乗りバスによる
デマンド運行
1 便当たり 0.4 人利用
14 人乗りバスによる
デマンド運行
1 便当たり 0.8 人利用
1 便当たり 0.0 人利用
高校生のみ 1 人利用
明治小学校（頸城区）の児童
以外ほとんど利用なし
1 便当たり 1.1 人利用

■再編後


凡　例
駅
乗換拠点
バス停
小学校
中学校
高等学校
大学
官公庁
病院
商業施設
柿崎バスターミナル
新旭町
馬正面
上下浜駅前
鵜の浜
浜線
上直海
長峰
森本線
水野線
水野
高畑
米山寺
くろかわ診療所
黒岩
柿　崎　区
柏　崎　市
互 助 に よ る
輸送を検討
路線を廃止（R4 年 4 月）
互助による輸送を検討
猶予期間に昼の便の増便
等を実施（R2 年 10 月）
乗 合 タ ク シ ー 等
への転換、ダイヤ
改善等（R4 年 4 月）
路線を廃止（R4 年 4 月）
互助による輸送を検討
猶予期間にルート・ダイヤの
改善等を実施（R2 年 10 月）
路線を廃止
（R4 年 4 月）
路線を廃止（R3 年 4 月）
現在利用している頸城区
の小学生は大池線の見直
しで対応

⑦　大潟区

■人口（令和元年 10 月末現在）

総人口	9,341人	7.2%
15歳未満	995人	0.8%
65歳以上	1,561人	1.2%
75歳以上	1,598人	1.2%

■地域の送迎サービス

No.	名　称	運行主体	区　間	運行日
1	スクールバス	市	南大潟地区(大潟町小学校区)	平日
2	サロン送迎	まちづくり大潟	南大潟地区～やすらぎの家(九戸浜)	月1回

■バス路線の収支と評価結果

No.	路　線	収支等の状況(H30決算)										
		区分	経常費用(千円)	経常収益(千円)	経常欠損(千円)	収支率	国県補助(千円)	市補助(千円)	年間利用者数(人)	1便当たり利用者数(人)	平均乗車密度	評価結果
1	浜線	支線	13,680	1,160	12,521	8.5%	6,134	6,386	6,813	1.4	0.3	Ⅱ運行形態の転換等
2	森本線	支線	7,549	288	7,261	3.8%	0	7,261	2,091	1.1	0.2	Ⅱ運行形態の転換等
3	上越大通り線(本町経由)	幹線	86,607	29,267	57,340	33.8%	38,051	19,289	220,253	21.6	2.1	Ⅳ現状維持
合　計			107,837	30,715	77,122	28.5%	44,185	32,936	229,157	13.5	−	

■利用の実態（乗降調査）

No.	路　線	利用の実態	
		利用の傾向(乗降調査)	利用の特徴(乗降調査)
1	浜線	A−イ	朝、昼間は柿崎区内の病院への通院が主
2	森本線	C−ア	・午前は高齢者の利用あり ・明治小学校の児童が下校時に利用
3	上越大通り線(本町経由)	D−イ	・朝夕は大潟町小の児童が通学で利用 ・昼間は直江津方面への通院、買物が主

■沿線住民の意見

No.	路　線	地域住民の意見	
		利用者の意見(乗降調査)	住民の意見(聞き取り調査、説明会等)
1	浜線	直江津まで直通の要望(10人/36人中)	・上越大通り線と浜線の直通化の要望あり
2	森本線	意見なし(0人/9人)	−
3	上越大通り線(本町経由)	増便が14人、バス・鉄道との接続、運賃の要望が各4人(1229人中)	・総合病院(上越総合病院、中央病院)への直通便を要望 ・上越大通り線と浜線の直通化の要望あり

■再編の方向性

No.	路線名	区分	主な再編時期	再編の方向性
1	浜線	支線	R4年4月	・乗合タクシー等への転換を検討し、効率性を向上 ・ダイヤ変更、減便により、利便性と効率性を向上
2	森本線	支線	R3年4月	・路線を廃止 ・明治小学校の児童の利用は、大池線の運行を改善し対応
3	上越大通り線(本町経由)	幹線	R5年4月	・ダイヤ改善による乗継負担の軽減、雁子浜東まで運行する便の増便等、利便性の向上を検討

※幹線と支線の乗換拠点は鵜の浜

■再編前

海
凡　例
■ 駅
○ バス停
○ 小学校
○ 中学校
○ 高等学校
○ 大学
● 官公庁
● 病院
● 商業施設
柿崎まで運行
雁子浜東
浜線
鵜の浜
長峰
上越大通り線
（本町経由）
大潟区総合事務所
上越妙高駅から運行
森本線
米倉
明治小学校（頸城区）の児童
以外ほとんど利用なし
１便当たり 1.1 人利用
犀潟医療センター入口
犀潟駅前
犀潟駅線

■再編後

海
凡　例
■ 駅
○ バス停
○ 小学校
○ 中学校
○ 高等学校
○ 大学
乗換拠点
● 官公庁
● 病院
● 商業施設
雁子浜東
浜線
鵜の浜
長峰
上越大通り線
（本町経由）
乗合タクシー等
への転換、ダイヤ
改善等（R4 年 4 月）
大潟区総合事務所
森本線
米倉
ダイヤ改善による乗継負
担の軽減等を検討
路線を廃止（R3 年 4 月）
現在利用している頸城区
の小学生は大池線の見直
しで対応
犀潟医療センター入口
犀潟駅前
犀潟駅線

⑧　頸城区

■人口（令和元年 10 月末現在）

総人口	9,475人	7.3%
15歳未満	1,094人	0.8%
65歳以上	1,247人	1.0%
75歳以上	1,318人	1.0%

■地域の送迎サービス

No.	名　称	運行主体	区　間	運行日
1	スクールバス	市	南川小学区、大瀁小学区	平日
2	通院送迎	高野循環器内科クリニック	頸城区周辺～病院	平日、土曜日
3	通院送迎	山田クリニック（内科等）	頸城区周辺～病院	平日、土曜日
4	サロン送迎	頸城振興会	頸城区～希望館	月9回
5	出前サロン送迎	頸城振興会	玄増・大蒲生田・坂田・西福島二区・下吉地区周辺	月1回～年2回

■バス路線の収支と評価結果

No.	路　線	収支等の状況（H30決算）										
		区分	経常費用（千円）	経常収益（千円）	経常欠損（千円）	収支率	国県補助（千円）	市補助（千円）	年間利用者数（人）	1便当たり利用者数（人）	平均乗車密度	評価結果
1	南川線	幹線	23,212	8,930	14,282	38.5%	4,302	7,333	59,073	9.6	1.7 2.0	Ⅳ現状維持
2	黒井駅線	支線	12,361	2,891	9,470	23.4%	1,736	7,733	35,928	21.2	1.0	Ⅳ現状維持
3	犀潟駅線	支線	7,554	3,007	4,548	39.8%	853	3,694	47,543	14.0	2.3	Ⅳ現状維持
4	柳町線	支線	4,251	1,458	2,794	34.3%	576	2,217	23,546	16.2	1.9	Ⅳ現状維持
5	くびき駅線	支線	8,577	1,266	7,311	14.8%	0	7,311	16,266	9.6	1.2	Ⅳ現状維持
6	市営バス(大池線)	支線	25,183	9	25,174	0.0%	0	25,174	10,409	7.2	－	Ⅳ現状維持
7	森本線	支線	7,549	288	7,261	3.8%	0	7,261	2,091	1.1	0.2	Ⅱ運行形態の転換等
合　計			88,689	17,849	70,840	20.1%	7,467	60,723	194,856	11.0	－	

■利用の実態（乗降調査）

No.	路　線	利用の実態	
		利用の傾向（乗降調査）	利用の特徴（乗降調査）
1	南川線	A・B－ア	・朝夕は通学利用が主 ・夕方の上り、朝の下りは、区内の利用が少ない
2	黒井駅線	A・B－ア	・朝夕は通学利用が主 ・昼間は利用が少ない ・くびき駅線は中増田北－明治小学校南門間、大池線は森本東－明治小学校南門間に利用が限定 ・黒井駅線は一部の時間帯に利用のない区間あり
3	犀潟駅線	A－ア	
4	柳町線	A－ア	
5	くびき駅線	A・B－ア	
6	市営バス（大池線）	A・B－ア	
7	森本線	C－ア	・明治小学校の児童が下校時に利用

■沿線住民の意見

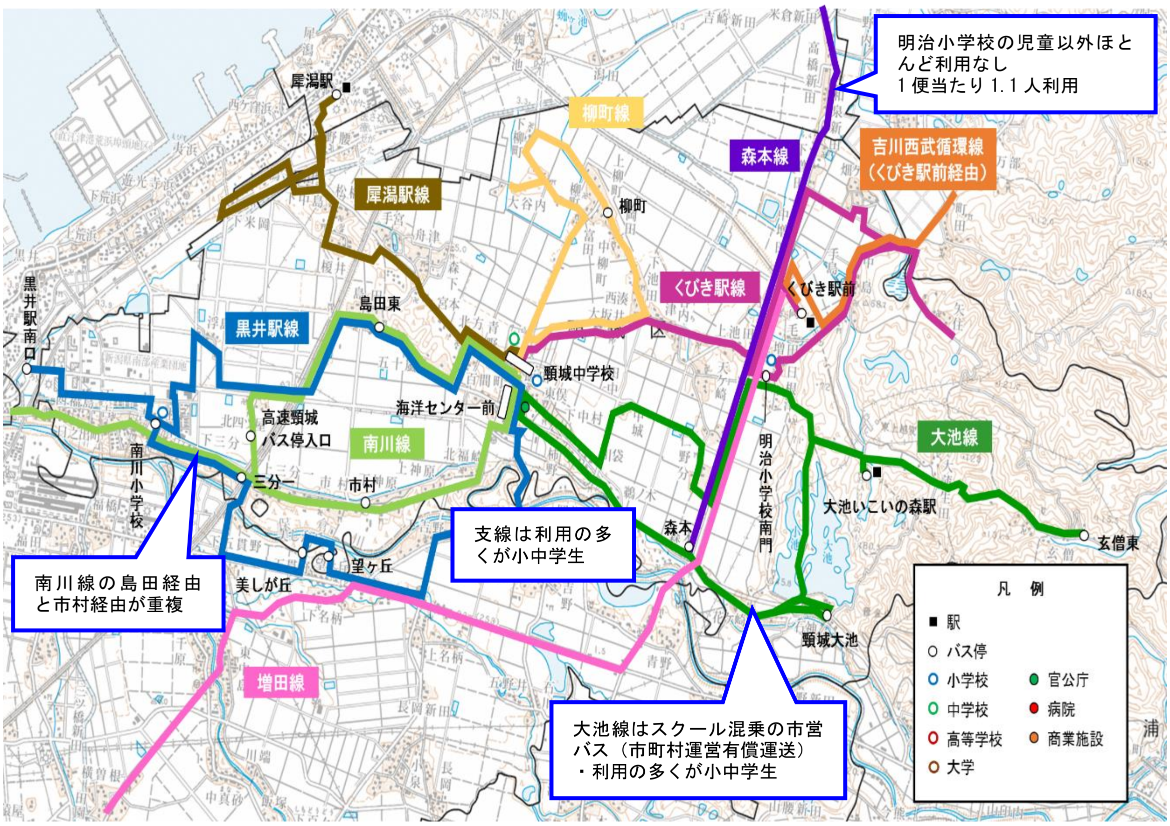
No.	路　線	地域住民の意見	
		利用者の意見（乗降調査）	住民の意見（聞き取り調査、説明会等）
1	南川線	・三ツ屋経由の要望（3人/238人）	・利用が少なく減便可 ・サロン参加者23人中6人がダイヤ改善を要望
2	黒井駅線	・意見なし（0人/88人）	
3	犀潟駅線	・高齢者割引の要望（1人/216人）	・買い物用乗合タクシーの要望 ・直江津駅、上越病院等への直通バスの要望(2町内会) ・ダイヤ改善、土日の増便を要望
4	柳町線	・意見なし（0人/32人）	
5	くびき駅線	・意見なし（0人/50人）	・買い物バス、通院バス運行の意見 ・直江津駅、上越病院等への直通バスの要望(4町内会) ・ダイヤ改善、乗換負担の改善要望
6	市営バス（大池線）	・意見なし（0人/90人）	
7	森本線	意見なし（0人/9人）	－

■再編の方向性

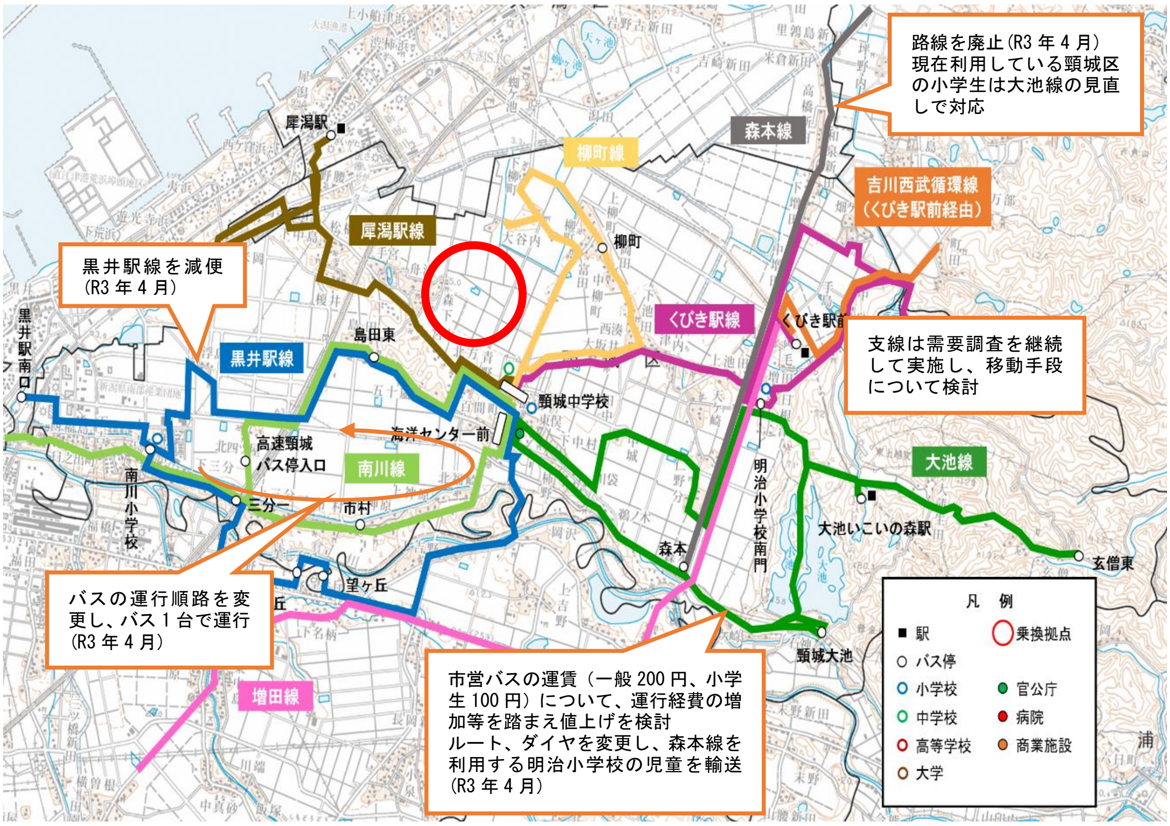
No.	路線名	区分	主な再編時期	再編の方向性
1	南川線	幹線	R3年4月	・黒井駅線との重複解消により、運行を効率化 ・島田経由と市村経由が重複する一部の便において、バス1台による運行を行い、運行を効率化
2	黒井駅線	支線	R5年	・黒井駅線は南川線との重複解消により、運行を効率化 ・大池線は、廃止する森本線を利用する明治小学校の児童が利用できるよう、ルートやダイヤを変更 ・沿線住民の需要調査を継続して実施し、他の交通形態への転換を含め、経路やダイヤなど、需要に即した移動手段について検討
3	犀潟駅線	支線		
4	柳町線	支線		
5	くびき駅線	支線		
6	大池線	支線	R3年4月	
7	森本線	支線	R3年4月	・路線を廃止 ・森本線を利用する明治小学校の児童が大池線を利用できるよう、大池線のルートやダイヤを変更

※幹線と支線の乗換拠点はいずれも海洋センター前

■再編前


明治小学校の児童以外ほとんど利用なし
1 便当たり 1.1 人利用
犀潟駅
柳町線
森本線
吉川西武循環線（くびき駅前経由）
犀潟駅線
柳町
くびき駅線
くびき駅前
黒井駅南口
島田東
黒井駅線
頸城中学校
高速頸城バス停入口
海洋センター前
南川線
大池線
南川小学校
三分一
市村
明治小学校南門
大池いこいの森駅
森本
支線は利用の多くが小中学生
玄僧東
望ケ丘
美しが丘
南川線の島田経由と市村経由が重複
頸城大池
増田線
大池線はスクール混乗の市営バス（市町村運営有償運送）
・利用の多くが小中学生
凡　例
駅
バス停
小学校
中学校
高等学校
大学
官公庁
病院
商業施設

■再編後


路線を廃止(R3 年 4 月)
現在利用している頸城区の小学生は大池線の見直しで対応
犀潟駅
森本線
柳町線
吉川西武循環線（くびき駅前経由）
犀潟駅線
柳町
黒井駅線を減便
(R3 年 4 月)
くびき駅線
くびき駅前
黒井駅南口
島田東
黒井駅線
支線は需要調査を継続して実施し、移動手段について検討
頸城中学校
海洋センター前
高速頸城バス停入口
南川線
大池線
南川小学校
三分一
市村
明治小学校南門
大池いこいの森駅
森本
玄僧東
望ケ丘
バスの運行順路を変更し、バス 1 台で運行
(R3 年 4 月)
頸城大池
増田線
市営バスの運賃（一般 200 円、小学生 100 円）について、運行経費の増加等を踏まえ値上げを検討
ルート、ダイヤを変更し、森本線を利用する明治小学校の児童を輸送
(R3 年 4 月)
凡　例
駅
乗換拠点
バス停
小学校
中学校
高等学校
大学
官公庁
病院
商業施設

⑨ 吉川区

■人口（令和元年 10 月末現在）

総人口	4,022人	3.1%
15歳未満	316人	0.2%
65歳以上	708人	0.5%
75歳以上	950人	0.7%

■地域の送迎サービス

No.	名 称	運行主体	区 間	運行日
1	スクールバス	市	吉川小学校区	平日
2	地域バス	市	村屋、川谷地区、大賀～吉川診療所、小学校	平日
3	サロン送迎	まちづくり吉川	吉川区内	週4回（月・水・金・土）
4	おらったりのつどい（不定期サロン）送迎	まちづくり吉川	吉川区内	年5回程度
5	内山医院	内山医院	吉川区内	平日

■バス路線の収支と評価結果

No.	路線	収支等の状況（H30決算）										
		区分	経常費用（千円）	経常収益（千円）	経常欠損（千円）	収支率	国県補助（千円）	市補助（千円）	年間利用者数（人）	1便当たり利用者数（人）	平均乗車密度	評価結果
1	吉川西部循環線	支線	14,941	5,728	9,213	38.3%	3,004	6,208	38,038	17.9	1.8 6.4	Ⅳ現状維持
2	山直海線	幹線 支線	30,846	7,566	23,279	24.5%	1,122	22,156	47,707	幹線 7.0 支線 2.5	1.6 2.1	Ⅳ現状維持（幹線） Ⅱ運行形態の転換等（支線）
3	泉谷・勝穂循環線	支線	11,482	1,509	9,973	13.1%	1,047	8,925	18,766	10.2	0.0 1.4	Ⅳ現状維持
合 計			57,268	14,803	42,465	25.8%	5,173	37,289	104,511	11.6	-	

■利用の実態（乗降調査）

No.	路 線	利用の実態	
		利用の傾向（乗降調査）	利用の特徴（乗降調査）
1	吉川西部循環線	A・B−ア	・朝夕は吉川中の通学利用が主 ・朝・昼間は総合事務所ー中島南、事務所ー坂田東間の利用が少ない
2	山直海線	B−ア	・吉川特別高等支援学校の通学利用が主 ・吉原ー尾神間の利用が少ない
3	泉谷・勝穂循環線	B・C−ア	・吉川小中の通学利用が主 ・泉ー東寺間、平等寺先回りは利用が少ない

■沿線住民の意見

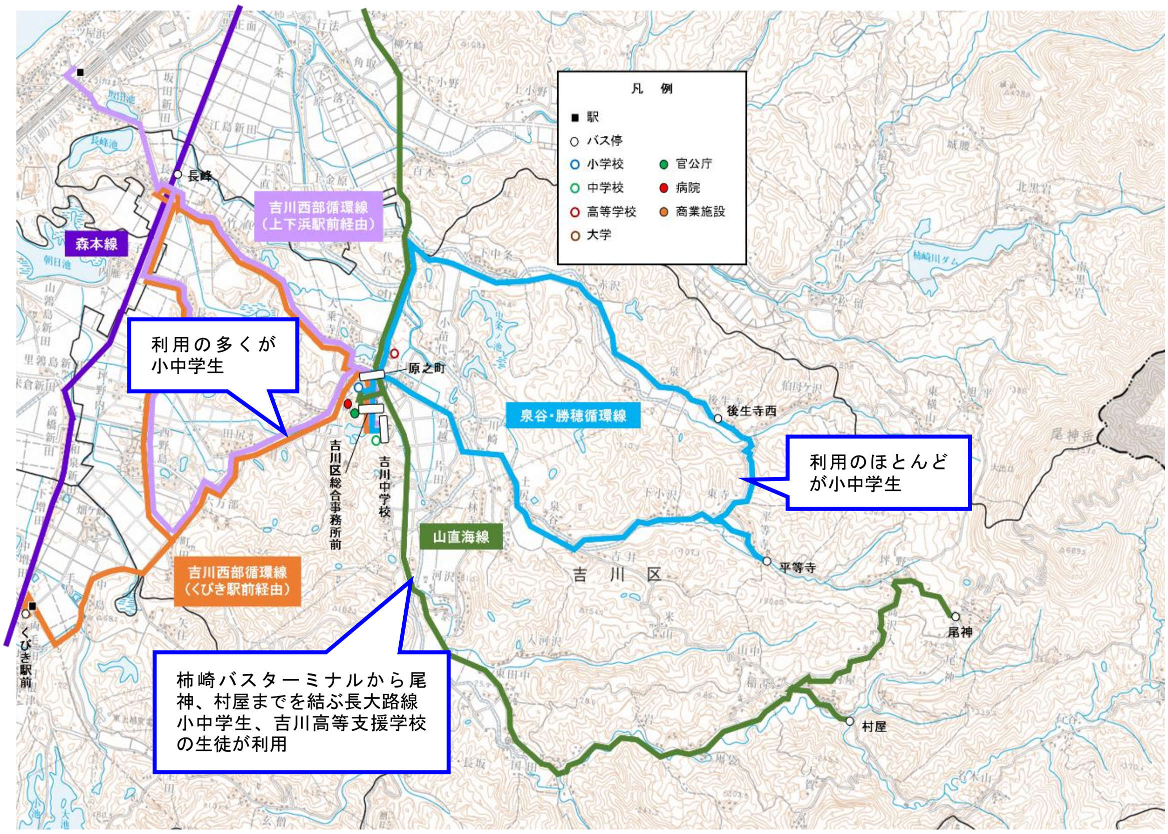
No.	路 線	地域住民の意見	
		利用者の意見（乗降調査）	住民の意見（聞き取り調査、説明会等）
1	吉川西部循環線	意見なし（0人/98人）	・免許証返納者からドアツードアの要望あり（3人/3人） ・くびき駅へ行けない（1人）、バス停まで遠く、バスを利用しない（2人）
2	山直海線	意見なし（0人/205人）	・バスを運行してほしい（道之下）、バス停までの移動手段（米山）の要望あり ・ドアツードアの要望あり（3人） ・バス停まで遠く、バスを利用しない（8人）
3	泉谷・勝穂循環線	意見なし（0人/42人）	・免許証返納者からドアツードアの要望あり（4人/4人） ・乗継が負担（2人）、車両のステップについて意見あり（1人）

■再編の方向性

No.	路線名	区分	主な再編時期	再編の方向性
1	吉川西部循環線	支線	R4年4月	・現状維持
2	山直海線	幹線	R4年4月	・幹線と支線に分割し、柿崎バスターミナルー吉川区総合事務所間に短縮 ・ダイヤ改善等により、利便性と効率性を向上
		支線	R4年4月	・スクールバスと路線バスの一本化（スクールバス混乗の市営バス）や、乗合タクシーへの転換を検討し、効率性を向上 ・ダイヤやルート等の改善により、利便性を向上
3	泉谷・勝穂循環線	支線	R5年4月	・スクールバスと路線バスの一本化（スクールバス混乗の市営バス）や、乗合タクシーへの転換を検討し、効率性を向上 ・ダイヤやルート等の改善により、利便性を向上

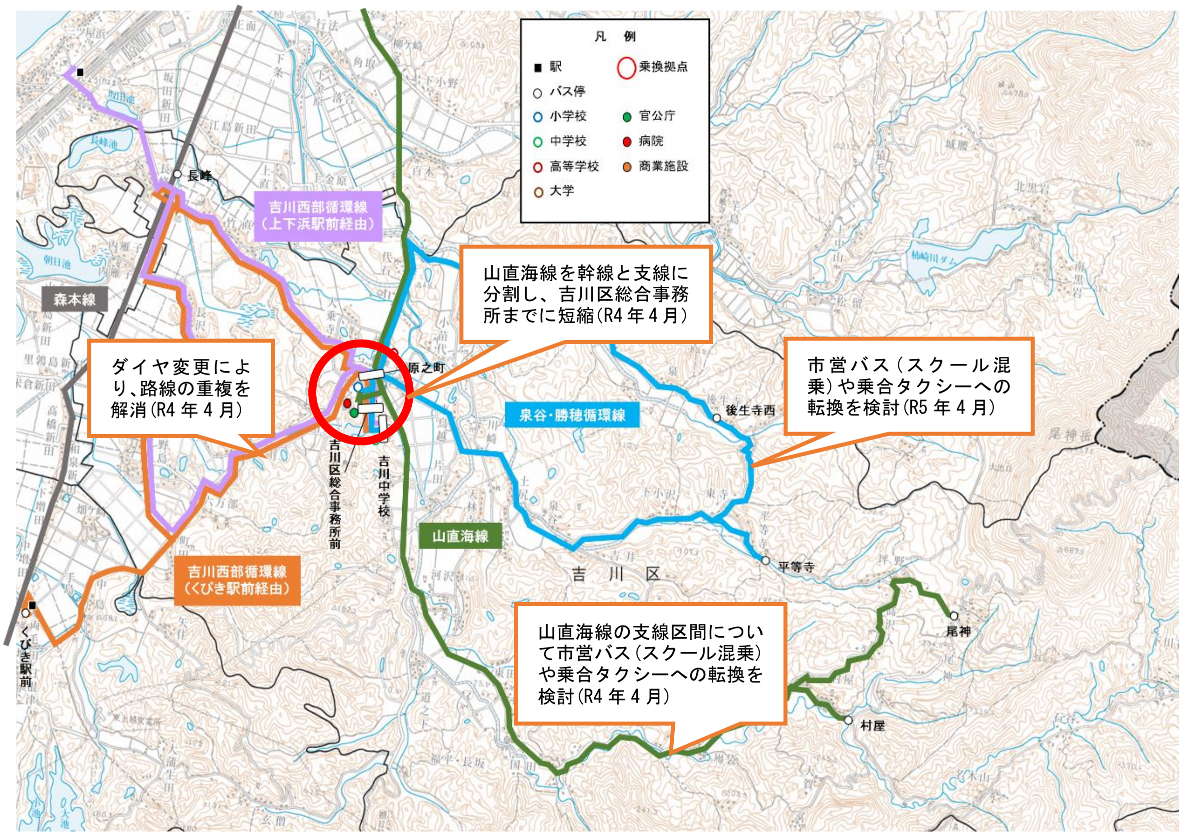
※幹線と支線の乗換拠点は吉川区総合事務所前

■再編前



凡　例
駅
バス停
小学校
中学校
高等学校
大学
官公庁
病院
商業施設
森本線
長峰
吉川西部循環線（上下浜駅前経由）
利用の多くが小中学生
原之町
吉川区総合事務所前
吉川中学校
泉谷・勝穂循環線
後生寺西
利用のほとんどが小中学生
山直海線
吉川西部循環線（くびき駅前経由）
吉　川　区
平等寺
尾神
村屋
くびき駅前
柿崎バスターミナルから尾神、村屋までを結ぶ長大路線
小中学生、吉川高等支援学校の生徒が利用

■再編後



凡　例
駅
乗換拠点
バス停
小学校
中学校
高等学校
大学
官公庁
病院
商業施設
長峰
吉川西部循環線（上下浜駅前経由）
森本線
山直海線を幹線と支線に分割し、吉川区総合事務所までに短縮（R4 年 4 月）
ダイヤ変更により、路線の重複を解消（R4 年 4 月）
原之町
後生寺西
市営バス（スクール混乗）や乗合タクシーへの転換を検討（R5 年 4 月）
泉谷・勝穂循環線
吉川区総合事務所前
吉川中学校
山直海線
吉　川　区
平等寺
吉川西部循環線（くびき駅前経由）
くびき駅前
山直海線の支線区間について市営バス（スクール混乗）や乗合タクシーへの転換を検討（R4 年 4 月）
尾神
村屋